

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、後期課程の新学習指導要領の完全実施となる。さらなる学力向上を目指し、9年間を見通した授業改善に取り組んでいきたい。</li> <li>・教職員の働き方改革については、少しずつ進んでいる。次年度も継続して働き方改革を進めていきたい。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>「大磨 智誠」 ～知・徳・体を大きく磨き、人格の完成を目指す～</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「夢に向かって絆・全力・挑戦」 ～夢と誇りをもち、社会をたくましく生き抜く児童生徒の育成～</p>
3 本年度の重点目標	<p>①主体的に学ぼうとする態度を育てる学習指導の工夫を図る。</p> <p>②キャリア教育の充実を図る。</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・共通実践についての共通理解の場をもち、意識化を図る ・毎回、校内研究の冒頭で「授業づくりのステップ1・2・3 セルフチェック」を行い、授業づくりへの意識向上と授業のレベルアップを目指す。研究授業後の参観等でもチェックシートを活用する。							
			○「よい姿勢で座り、発言者の方を向いて話を聞くことができた」と肯定的に回答している児童生徒80%以上	・校内研究の時間を活用した学習規律内容の共通理解の場の設定 ・「学習のルール」に準じた学習規律の指導						
			○「宿題や課題、あすなるワークを忘れないでしている」と肯定的に回答している児童生徒90%以上	・家庭学習の充実に資する授業の実施 ・「学習のルール」に準じた家庭学習時間の指導						
			○「自分の考えをもち書くことができた」と肯定的に回答している児童生徒75%以上	・西部型授業、大町型授業実践における自分の考えを書く活動の設定						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○命の大切さや相手の立場を考えて思いやることができるようになったと言える児童生徒80%以上	・生命尊重、思いやり等の道徳授業の実践 ・本物に触れる体験活動の取組 ・平和集会、人権集会の取組							
			●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの把握に資する学校全体の取組を月1回以上実施。連絡会を週1回実施する中に、いじめや問題行動にかかわる事案を報告する時間を設定する。	・Q-Uの実施、心のアンケート(毎月)教育相談部会(月末火曜日6時間目)小中合同生徒指導・教育相談連絡会(年3回)					
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒を、小学生95%、中学生100%を目指す。	・学級活動等において食育指導を推進し、朝食の意義や食事の大切さについて児童生徒だけでなく、必要に応じて家庭に協力を呼びかける。							
			○防災教育・安全教育の推進	○学校内外での安全意識を高める。年間を通して、交通事故を0にする。 ○災害時において取るべき行動について正しく理解している児童生徒の割合を90%以上にする。	・登校指導・各種訓練・危険箇所の点検見回りを行い、その結果を集集等で指導に生かす。 ・防災についての講話や体験を行い主体的に行動する態度や支援者としての育成を図る。					
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日午後は職員裁量時間として運用 ・定時退勤日(水・金)の設定 ・長期休業中の学校閉庁日の設定 ・部活動休業日の設定							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○キャリア教育の推進	◎生徒が夢や誇りをもち、社会をたくましく生き抜くための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした6年生児童、9年生児童85%以上	・学期の始めや終わり、行事や活動後などに計画的にキャリアパスポートに記述させる。							

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--